

船橋市



農委だより

FUNABASHI NOUIDAYORI

令和8年
(2026年)

1/1

第111号
年2回発行

発行 船橋市農業委員会
編集 農委だより編集委員会

〒 273-8501 船橋市湊町 2 丁目 10 番 25 号
TEL 047 (436) 2745
URL <https://www.city.funabashi.lg.jp> (船橋市役所)
e-mail nogyo@city.funabashi.lg.jp



加藤園主が営む体験農園「旬菜園」は、農家のプロである家族3人の指導を受け、初心者も本格的な野菜作りができると評判！都市農業への理解を広めながら、地域交流の場としても注目されています。

詳しくは3ページ「がんばる！農家訪問」をご覧ください！



年頭のごあいさつ

船橋市農業委員会
会長 岡庭一美



新年あけましておめでとうございます。

日頃より農業委員会活動にご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

農業従事者の高齢化、後継者や担い手の不足、さらにこれらの諸問題から生じる遊休農地の発生など、農業を取り巻く環境は依然として厳しい状況にありますが、次世代に農業を継承するため、全国では地域計画の策定が進められております。本市におきましても将来の農地利用の目標地図を含めた地域計画の策定に向けた協議が行われております。

農業委員会といたしましても地域計画の実現に向けた取組を通じて農地利用の最適化を目指し、農業委員と農地利用最適化推進委員が連携しながらさまざまな諸課題に真摯に取り組み、農地を地域の貴重な資源として守り継ぎ、農業者の皆さまの期待に応えられるよう、委員一人ひとりが全力を尽くして参ります。

今後ともご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

結びに、農業者とご家族の皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、年頭のあいさつとさせていただきます。

謹んで新年のご挨拶を申し上げます



農業委員・農地利用最適化推進委員一同

| | |
|-------------------|-----------------|
| 農業委員会 | 石山 幸男 （馬込町） |
| 齋藤 教子 （坪井町） | 金子しのぶ （前貝塚町） |
| 豊田 豊 （二和東） | 長嶋 雄一 （葵円台） |
| 小川 晃 （東船橋） | 平野 恵昭 （西船） |
| 神山 茂樹 （豊富町） | 高橋 光一 （旭町） |
| 藤家 雅子 （東京都杉並区） | 藤平 尚志 （大神保町） |
| 宍倉由紀雄 （前原東） | 藤城 孝義 （高根町） |
| 岡庭 一美 （三咲） | 伊藤 常信 （坪井町） |
| 武藤 英夫 （小室町） | 岩佐 幸男 （神保町） |
| 木村 幸一 （大神保町） | 中村 貞 （車方町） |
| 齋藤 英幸 （坪井町） | 伊藤 貞 （車方町） |
| 伊藤 齊藤 （大穴南） | 伊藤 英智也 （大穴南） |
| 伊藤 賢司 （二和東） | 伊藤 和也 （印内） |
| 伊藤 義夫 （金杉） | 海老原寿生 （中野木） |
| 伊藤 実一 （前貝塚町） | 白井 廣司 （神保町） |



体験農園は地域の住民との交流を最大限に深められる！

旬菜園を運営する

かとう よしひさ

加藤 義久さん（西船）

西船橋で伝統的な小松菜栽培をしてきた加藤義久さん（62歳）が体験農園・旬菜園を開設したのは約12年前。当初、応募数が見込めない不安の中20区画で募集しましたが、実際には3倍近い応募がありました。会員は65歳以上が多いですが、家族連れなどさまざまな年齢層にわたっており、現在は約90区画の会員とともにおいしい野菜作りをしています。体験農園では加藤さん一家3人の農業のプロが作付け計画や品種選定を行い、種・農具など、農作業に必要な一切を提供し、土日も含めて指導します。このため、初めての人でも高品質でおいしい野菜が作れます。

〈JR西船橋駅・京成西船駅近くで運営〉

加藤さんの農地はJR西船橋駅・京成西船駅から徒歩約10分、近くに行田団地があり、住宅に囲まれています。そのため農作業に伴う農機具の音や農薬散布などでは地域住民の理解が欠かせません。地域住民でもある会員に楽しんで栽培・収穫してもらうことにより、都市農業の大きな課題である交流や農業への理解が深まるだけでなく、農地の保全や防災機能などの役割を知ってもらうという副次効果も期待できます。また会員同士の交流会や餅つきといったイベントも頻繁に行われているそうです。

都市農業では、地域住民との交流と合せて円滑な相続も欠かせません。農地は農業経営の基盤となるもので、相続税の納税猶予制度抜きでは円滑な相続は難しいのが実態です。加藤さんは「この体験農園は納税猶予制度をクリアできる」と税理士に確認したうえで開園に踏み切りました。この点でも都市農業の今後の方向の一つとして注目されています。

〈1年間の会費 36,300円/16m²〉

旬菜園のシステムは3月から翌年1月までの11カ月間を一期間とし、種・肥料・資材など全て込みで会費は1カ月3,300円、収穫物は会員の所有となります。「考え方としては会費が野菜の販売費にあたる」と加藤さんは話します。農家は野菜を作り販売して生計をたてますが、出荷するには収穫の手間や梱包・輸送その他経費がかかります。体験農園では、これらのほとんど全てを省くことが出来ます。「畑で野菜を育てる経験を含めて販売する」体験農園は、まさに究極の直売方式といえるのではないでしょうか。

訪れた時には多くの会員が青空のもとで明るく楽しげに作業をしていました。会員の一人が「私は全く素人ですが、農作業が楽しい。収穫物を料理するのが楽しみです」と語っていたのが印象に残りました。

旬菜園：船橋市印内2丁目内

電話 070-6987-1183（加藤）

メール syunsaien@willcom.com

H P <https://syunsaien.mystrikingly.com>



会員の皆さんがあつた農業を楽しみ、たくさん野菜を育てられるよう、いろいろな質問にも丁寧に答える姿が印象的でした。



家族で協力しながら、都市部の農地を守り続けます。



加藤園主のお話に農業委員も聞き入ってしまいます。

編集委員：神山 茂樹

農業委員：石山 幸男



農業モニター・消費生活モニター・農業委員会合同座談会を実施しました。

令和7年度の農業モニター・消費生活モニター・農業委員会の合同座談会が昨年8月28日に行われました。

今回の参加者は、農業モニター8名、農業委員7名、農地利用最適化推進委員5名でした。

農業モニターは農家の代表であり、消費生活モニターは消費者の代表。今回はそれぞれの立場で、お互いが意見交換をしていくことで、さまざまな意見交換ができる貴重な機会となりました。

この座談会での意見をもとに、農地がより効率的に活用されるよう、また都市農地への理解を深めるよう、農業委員会から船橋市へ意見書を提出しています。

今回のテーマは「都市農地の重要性と都市農業を守るために必要なこと」とし、減少しつつある船橋市内の農地と農家を守るために、多くの改善策や提案がありました。

意見の内容は以下のとおりとなります。

課題

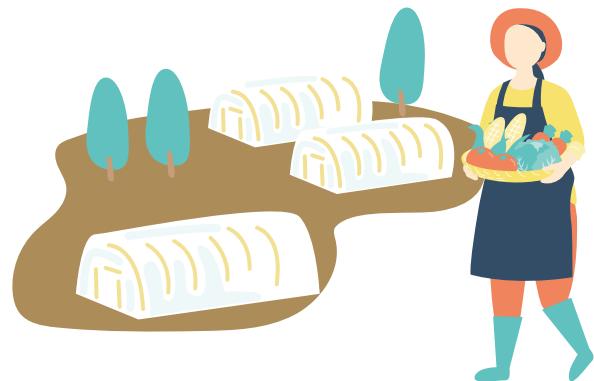
- ①後継者不足問題
- ②都市農地の周辺住民との調和
- ③農作物の販売促進（適正価格、鮮度等）
- ④耕作放棄地の解消

課題に対する意見や対策について

- ①-1 「農業ヘルパー」を募集するなど、近隣地域の方々に農業を知ってもらう取り組みを行う。
- ①-2 農家の跡取りが、相続税や生産緑地、収入などの問題で農業を継ぎ難い現状がある。→ 外国人を含む、外から入って来る新規就農者にも支援強化が必要。
- ② 農家と地域住民との相互理解を深めるためにはどうすべきか → 近隣住民との様々な交流イベントの開催や市民農園の拡充、さらにはアグリツーリズムの実施などで消費者の理解を深める。
- ③-1 農作物の販売促進に関して → 学校における食育などで地元農産物を学ぶことにより、地域に愛着を持つことが出来、理解が深まる。
- ③-2 地場野菜のより効果的な販売方法を考えることが必要
- ④ ①の後継者不足問題は耕作放棄地が増える原因でもあり、解決するためには地域全体で考えていくことが必要。



農業者・消費者・近隣住民、様々な視点での意見が活発に交わされました。



編集委員：宍倉 由紀雄

第58回 船橋市農水産祭「都市農業PR」

～船橋産農産物の魅力を発信する 即売会は大盛況！～

昨年11月8日、東武鉄道船橋駅コンコースにて船橋市農水産祭「都市農業PR」が開催されました。

おだやかな秋晴れの中、農業委員、農地利用最適化推進委員、農業モニター、市内農業者により、夏の猛暑や残暑の影響で種まきの遅れや生育不良がありつつも、収穫された約3400点の地元野菜や花き等が販売されました。

岡庭農業委員会会長、松戸市長、東武百貨店船橋店長のあいさつの後、東武船橋駅長による「出発進行！」の笛の合図により、10時30分に即売会がスタート。

船橋ブランドの小松菜、枝豆、梨のほか、ほうれん草、大根、かぶ、ねぎ、キャベツ、さつまいも、ミニトマト、きゅうりなどお客様にとって身近な農産物、さらには、シクラメン、卵、チーズ、イタリア野菜などが5ヶ所に分かれて販売されました。

物価高騰や夏の猛暑の影響により野菜の価格が例年よりも高騰したこともあり、即売会では、小売価格よりも安価に設定された農産物が飛びように売れていきました。

また即売会の他にも、船橋市観光協会によるふなばしカレーの販売、東武鉄道のフォトスポット、船橋市地域保健課によるベジチェック、船橋警察署による防犯対策等に関するブースが設置され、市民にPRや呼びかけをおこなっていました。

農産物即売会は、大盛況！11時には売り切れてしまう農産物もあり、12時30分にはすべて完売！

会場を訪れた市民からは「いつもおいしい野菜をありがとうございます?」「どこに行けば買えますか?」「おすすめの食べ方は?」といった質問などもあり、やり取りも楽しかったです。

次の日が雨予報ということもあり、次々と来る人、人、人。

販売するのは大変でしたが、生産者が自ら地元野菜のおいしさや魅力をPRし、船橋にすばらしい農産物があることを市民に伝えることができたのではないかと思います。

会場を提供してくださった東武鉄道・東武百貨店の皆様、早朝よりご協力くださった関係者の皆様、生産者の皆様、そして、船橋の農産物をたくさん購入してくださいました全ての皆様に感謝申し上げます。

編集委員：長嶋 雄一

第58回船橋市農水産祭「都市農業PR」アンケート調査結果

問1 あなたが野菜・くだものを購入するときに特に重要と思う点は何ですか？

1. 味・鮮度..... 70名
2. 価格..... 11名
3. 安全性..... 11名
4. 産地..... 6名
5. 見た目..... 2名

問2 あなたは、日頃、野菜を購入する頻度はどのくらいですか？

1. 週1回程度..... 11名
2. 週2～3回程度..... 57名
3. 週4～5回程度..... 26名
4. 週6回以上..... 6名

問3 野菜の主な購入先を教えてください

1. 小売店(スーパー・マーケット、八百屋).... 34名
2. 農産物直売所..... 64名
3. コンビニエンスストア..... 1名
4. 回答なし..... 1名

問4 船橋の農業をPRするには、どういった取り組みが効果的だと思いますか？（複数回答可）

1. 農産物の試食・販売..... 60名
 2. 農作業の体験..... 27名
 3. 農産物を使った料理教室..... 20名
 4. 農家と地域住民の懇談会..... 5名
 5. 船橋産の農産物を販売するお店を増やす..... 47名
 6. その他(利便性の良い場所に出店する)..... 1名
- (回答数 100名)



埼玉県の農研機構・農業機械部門と トキタ種苗大利根研究農場オープンデーを視察

昨年11月13日、農業モニター・農業委員・農地利用最適化推進委員の合同視察が、実施されました。33人が参加し、埼玉県さいたま市の国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構（通称：農研機構）農業機械研究部門と加須市のトキタ種苗（株）大利根研究農場を訪れました。

〈安全を基本に最新機を開発〉

農研機構は日本最高の農業・食品にかかるシンクタンク。訪れたのはさいたま市にある農業機械研究部門。約330人が在籍しており、その半分以上が研究職です。

最初に研究室の広報チーム長によるスライドを用いた説明がありました。

同研究室は、民間機関が開発した機械の安全性をチェック・認証する検査機関としての役割を担っている他に、機械開発の研究を産・官・学で共同して行っています。

国際競争力のある日本農業を目指すには、農業用ロボットの導入が避けて通れませんが、同時に、トラクターのアタッチメント交換作業の自動化など、農業経営者のニーズを把握して、作業の安全性を最優先に、きめ細かな研究開発を積極的に行っているそうです。従来の約2倍の効率が見込めるリモコンによる草刈り機や、タテ・ヨコ2方向に対応可能な田植機、トマトの接ぎ木装置など農業にかかる機械開発の動向を紹介していただきました。

このあと各社メーカーの最新機械を展示したショールームと、戦前・戦後の農業機械を展示した資料館を見学し、時代の変遷が良く理解できました。



ショールームでは、最新の農業機械が展示され、担当者からの説明を熱心に聞く姿が見受けられました。

〈開発と普及を同時追求〉

加須市のトキタ種苗（株）大利根研究農場にて開催されたオープンデーは、この日と翌日の2日間の開催。昼過ぎに伺いましたが、どこの畑にも人が集まっており大盛況。会場では露地栽培やハウスの実証栽培などを見学。イタリア料理用の種子等の開発に熱心なことからも、「日イ協会」主催のツアーもあり、国際色豊かなにぎわいをみせていました。

印象に残ったのは気候や地域に対応した種や苗の開発だけでなく、そのネーミングです。船橋ブランド品の一つである小松菜についてみると、夏専用の種子は「夏の甲子園」、厳冬期間（越冬栽培）については「冬の豪速球」といった親しみやすい商品名がつけられているように、開発と普及を一体としてとらえている姿勢がうかがえました。

内容が盛りだくさんな視察でしたが、いずれも日本の農業の未来を感じさせるものでした。関係者の皆さんに心より感謝申し上げます。



様々な品種が栽培されており、その特徴を一目で比較することができます。

農業委員：石山 幸男

女性農業者の
皆さん!!

とうかつ女性農業者ネットワークに入りませんか!!

~きっと新しい出会いと発見があります!~

とうかつ女性農業者ネットワークは、東葛飾地域（船橋市・市川市・松戸市・野田市・柏市・流山市・我孫子市・鎌ヶ谷市）の女性農業者のグループです。

野菜や果樹、酪農、加工等の技術習得に向けて、学習会や視察研修会などを年3回程度開催し、会員同士の交流を深めています。

活動の目的

- ①女性農業者の経営や技術のスキルアップを目指します。
- ②仲間と連携し地域の農業を盛り上げていきます。

◆参加対象

東葛飾地域で農業に携わる女性ならどなたでもOKです。(年齢制限なし)

活動紹介

- ① 地域の先進農家から
栽培技術を学ぶ!



先進的経営事例の視察研修

- ② 新鮮でおいしい農産物を
消費者の皆さんに届けたい!



マルシェサークルでイベント参加

地域の垣根を越えて
仲間が増えて嬉しいです♪



加入している会員の声

【問い合わせ先】とうかつ女性農業者ネットワーク担当 ☎04-7162-6151

(千葉県東葛飾農業事務所改良普及課内)

✿ ぜひ、私たちと一緒に活動しませんか！ 皆様のお問合せ、ご加入をお待ちしています。

農業者年金で安心・豊かな老後を

農業者年金は、次の要件を満たす方ならどなたでも加入できます。

年間60日以上
農業に従事国民年金第1号
被保険者
国民年金保険料納付免除者を除く65歳未満
60歳以上は、国民年金の
任意加入被保険者

- 老後の備えは国民年金プラス農業者年金が基本です。
- あなたの老後生活への備えは十分ですか？

*1 農業者年金に加入される方は、国民年金の付加料金（付加年金保険料月額400円）への加入が必要です。 *2 農業者年金と国民年金基金（旧みどり年金を含む）及び個人型確定拠出年金（イデコ）とは重複加入できませんのでご注意ください。
*3 脱退した場合、納めた保険料は、その後も農業者年金基金が運用を続け、将来、年金として支給します。そのため、脱退一時金はありません。

農業者年金 6つのポイント

- ポイント1 農業者なら広く加入できる
- ポイント2 積立方式・確定拠出型で少子高齢時代に強い
- ポイント3 保険料は、月額2万円（35歳未満で政策支援加入の対象とならない方は1万円）から6万7千円の間で自由に決められる
- ポイント4 終身年金。80歳前に亡くなられた場合は、死亡一時金がある
- ポイント5 税制面で優遇措置がある
- ポイント6 一定の要件を満たす農業者には保険料の国庫補助がある

農業者年金 3つのメリット

- メリット1 女性に優しい
 - 奥様も単独で入れます。
 - 女性農業者の長い老後をしっかりサポートします！
 - 女性農業者の老後の安心は自分で確保
 - 家族経営協定で保険料の国庫補助も
- メリット2 若年層には手厚い政策支援（保険料補助）
 - 国民年金第1号被保険者等の農業者年金への加入要件に加え、39歳までに加入
 - 農業所得が900万円以下
 - 認定農業者で青色申告等を満たせば受けられます。
- メリット3 税制面で大きな優遇
 - 支払った保険料は全額が社会保険料控除の対象となります。
 - 運用益は非課税です。
 - 将来年金として受け取る際も、大きな控除があります。

詳しくは…

農業者年金基金

検索

独立行政法人 農業者年金基金

<https://www.nounen.go.jp>農業者年金の内容やご相談については、最寄りの農業委員会かJAまたは農業者年金基金にお問い合わせください。

専門相談員

TEL: 03-5919-0371





全国に誇る「千葉の園芸」全国順位

(3位までの主な品目)

令和5年産統計版

公益社団法人 千葉県園芸協会



(注) データは令和5年農業産出額に基づく。(R7年3月作成)

